



『第4回 防災ウォーク』（まちあるき）を実施しました！

聚楽学区では、「災害に強いまち」を目指し、「防災まちづくり」の取組を進めています。

5月26日（日）に、町内会長・防災部長など24名の方に参加いただき、歴史セミナー、まちあるき、意見交換（まちあるきのふり返し）を行いました。今回の取組を通じて、防災上危険な箇所を把握するとともに、まちの歴史や地域資源などの良いところも再確認しました！

『防災ウォーク』の様子・流れ【参加者：24名】

①歴史セミナー

- ・聚楽学区の成り立ちや聚楽第などの歴史について、自主防災会の松村会長にお話をさせていただきました。



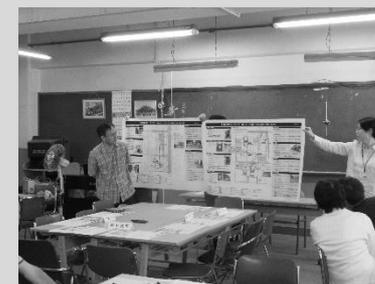
②まちあるき

- ・地図を見ながら、「地域の集合場所」の安全性や防災上の課題を確認しました！
- ・また、歴史セミナーを踏まえ、今も残る史跡などのまちの魅力についても確認しました！



③意見交換（各ブロック）

- ・まちあるきを踏まえて、まちの良いところや危険なところなど気づいたことを話し合い、参加者全員で共有しました！



『防災ウォーク』に参加された方のご感想・ご意見（抜粋）

●今回の感想・次回参加したいテーマ

- ・初めて路地を見て、防火対策が大切だと感じた。
- ・普段気がつかないことに意識を持つことができた。
- ・今後もこのような取組は継続していくべき。
- ・耐震について知りたい。
- ・防災の歴史や防火対策が知りたい。

●防災上の不安なこと・課題

- ・災害時の避難経路の確保が不安。
- ・老朽化空き家に猫が棲みついている。
- ・台風などで空き家の瓦が飛んで危険。
- ・路地に高さのあるブロック塀がある。
- ・路地内で火災が起これると怖い。
- ・路地内の空き家は建替えなどの更新が難しい。
- ・元聚楽校の万代塀が崩れそうで怖い。
- ・緊急車両が通れない。

●今後必要な「防災まちづくり」の取組

- ・路地にお住まいの方を対象に、消火器訓練を実施する。
- ・路地内での火災はこわいため、消火器の位置を把握する。
- ・消火器・消火バケツの設置を町内会で徹底してほしい。
- ・路地内の高さのあるブロック塀は、改善に向けて市とともに所有者に働き掛けを行う。

京都市では路地・まち・いえの安全性を高めるための支援制度・窓口があります！

路地

袋路等の緊急避難経路を整備しましょう。

緊急避難扉の設置に、最大 30 万円を補助します！（全額補助）

袋路等の入口部分を強くしましょう。

入口部分の建物の耐震・防火改修に最大 250 万円、
入口部分の整備に最大 50 万円を補助します！（全額補助）



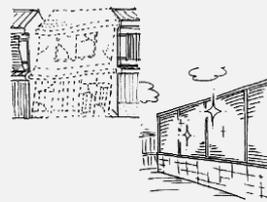
まち

老朽化した木造建物を除却しましょう。

袋路に面した家を除却し、周囲の防災性が向上する場合、
最大 60 万円（補助率 2/3）を補助します！

古いブロック塀を改善しましょう。

道に面したブロック塀の除却費：最大 11,600 円/㎡や、それに替わる金属塀等の
新設費：8,900~14,700 円/㎡（仕様による）を補助します！（全額補助）



いえ

まずは、ご自宅の耐震診断を受けましょう。

京都市から耐震診断士を派遣します。診断は無料です！

ご自宅を耐震改修・防火改修しましょう。

耐震改修：木造住宅は最大 100 万円、京町家等は最大 120 万円～300 万円
簡易な耐震改修は、最大 50 万円（京町家等 60 万円）を補助します！
防火改修：軒裏や外壁等の防火改修工事は、最大 50 万円（京町家等 60 万円）を補助します！



《問合せ先》

京都市役所
まち再生・
創造推進室
（密集市街地・
細街路対策）

連絡先：
075-222-3503

《問合せ先》

京(みやこ)安心
すまいセンター
連絡先：
075-744-1631

今年度も引き続き、防災まちづくりに取り組んでいきます！

災害に強いまちを目指して、今年度は『耐震ローラー作戦』（耐震の啓発）、総合防災訓練での防災まちづくりの取組 PR を行います（いずれも秋頃実施予定）。引き続き、『防災まちづくり』へのご理解・ご協力をお願いいたします。